

さいせいおたる



社会福祉法人 恩賜財団済生会支部北海道

済生会小樽病院

〒047-0008 北海道小樽市築港10番1号

TEL 0134-25-4321(代) FAX 0134-25-2888

URL <http://www.saiseikai-otaru.jp/>

発行 近藤真章 編集 広報委員会



雪あかり

撮影 臨床検査室 一條周一 (写真部)

■目次

- 02 コラム インフルエンザと
ノロウイルスによる感染性胃腸炎
- 04 トピックス 透析センター 壁新聞 ほか
- 05 部署紹介 済生会指定居宅介護支援事業所はまなす
- 06 野球検診を開催しました ほか

理念

新たな地域医療の創造と社会貢献

患者中心、患者主体の医療

人を大切にする組織

インフルエンザと ノロウイルスによる感染性胃腸炎

コラム

泌尿器科 堀田浩貴 診療部長



冬に注意が必要な感染症として、インフルエンザとノロウイルスによる感染性胃腸炎があげられます。どちらも寒い時期によく耳にしますが、重症化した場合には生命に関わることもあり注意が必要です。

1. インフルエンザ

・どんな症状？

インフルエンザウイルスが原因の呼吸器感染症です。咳、のどの痛み、鼻汁などの呼吸器症状の他に、38℃以上の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛などの全身症状が普通の風邪に比べて強く出やすいことが特徴のひとつです。おう吐や下痢など消化器症状が見られる場合もあり、子ども、御高齢の方、免疫力の低下している方などでは重症化し肺炎や脳炎になることがあります。

・どうしてうつるの？

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」が主たる感染経路ですが、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。

・治療は？

治療については、病状や経過（特に症状が出始めてからの時間）に合わせて医師が判断しています。症状に応じた対症療法が中心ですが、**抗インフルエンザ薬（タミフル、リレンザ、ラピアクタ、イナビルなど）**も使用される場合があります。

・予防は？

予防のポイント予防接種は、重症化の予防を目的として行います。予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。



抗インフルエンザ薬

2. ノロウイルスによる 感染性胃腸炎とは

・どんな症状？

主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛です。小児ではおう吐、成人では下痢が多いです。症状は平均24～48時間続きます。

・どうしてうつるの？

感染経路は、ノロウイルスが付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

・治療は？

特別な治療法は無く、症状に応じた対症療法が行われます。乳幼児や高齢者では下痢等による脱水症状を生じることがありますので早めに医療機関を受診することが大切です。特に高齢者は、誤嚥（おう吐物が気管に入る）により肺炎を起こすことがあるため、体調の変化に注意しましょう。おう吐の症状がおさまったら少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をとるよう心がけましょう。

・予防は？

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

便やおう吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

東京都感染症情報センターホームページを参考にしました。



透析センター 壁新聞

トピックス

当院透析センターでは、「日常の些細な笑いから楽しい気持ちと癒しを与えたい」という思いで、平成26年5月から透析待合室に壁新聞（満づく笑医隊壁新聞）を掲示しています。内容は病院行事の紹介やスタッフの素顔やペットの紹介等、写真を多く取り入れるように工夫しております。作成は当院透析センターの看護師が担当しており、アンケートを行った結果では6～7割の透析患者様に楽しさ・癒し・親近感を与えることがわかりました。今後はスタッフだけではなく患者参加型の壁新聞の作成を目指していこうと思っています。掲示が終了した壁新聞は、冊子にして待合室で自由に閲覧できるようになっておりますので、透析センターへお越しになる機会のある方は是非ご覧になってみてください。



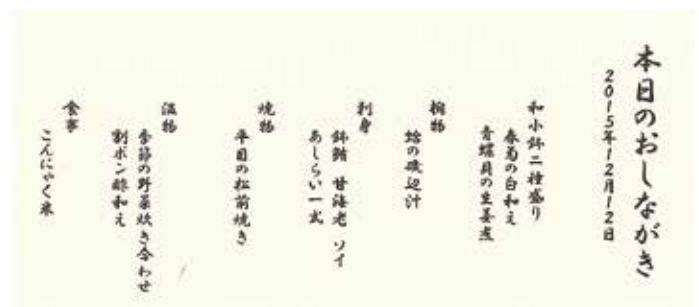
糖尿病患者さんの会 「なでしこ友の会」を開催しました

トピックス

12月12日、糖尿病患者さんの会「なでしこ友の会」を開催しました。今回はランチ会を企画し、当院近くのホテルが提供している『ヘルシー和食懐石』を堪能しました。この懐石は、小樽市保健所が策定している「第2次健康おたる21」の食を通じた健康づくりの取り組みのひとつで、市内外食料理店が登録する「おたる・スーパーヘルシーメニュー」というものでした。カロリー516kcal、食塩相当量2.0gのお料理で、料理長から料理のご説明をいただきました。

患者さん同士、日頃の悩みや不安など色々なお話を通し意見交換をされておりました。患者さん、医療スタッフともに楽しい時間を過ごすことができました。今後も、勉強会の開催などを予定しております。

この会の参加には、「糖尿病友の会」への申し込みが必要となります。ご興味がある方は、当院の管理栄養士までお問い合わせください。



済生会指定居宅介護支援事業所はまなす

部署紹介

ケアマネージャーという仕事をご存じでしょうか？

ケアマネージャーは介護保険法に基づいて、在宅で生活している高齢の方及び、施設に入居されている高齢の方に、どんな支援が必要なのか、ケアプラン(サービス計画書)を作成することが仕事です。そして居宅介護支援事業所とは、その名の通り「居宅」＝「在宅」で生活されている方の支援を行うケアマネージャーが配属されているところになります。

ケアマネージャーは、ご本人やご家族の現状のお悩みや困っていること、解決したいことを一つ一つ聞きながら、介護保険やその他のサービスのご利用の提案や相談を行い、利用に至るまでの手続きや調整を行います。また、利用が開始されてからも定期的に状況を確認し、随時、支援内容の見直しや再調整を行っていきます。

当居宅介護支援事業所は病院併設となっており、退院後の生活が不安なく円滑に送れるよう、入院中から病院スタッフと連携を図り、支援をすすめていきます。



高齢化が進む昨今、高齢者を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、制度も複雑化してきています。ケアマネージャーはそうした支援の専門職です。介護にかかわるご相談や困っている事などございましたら、お気軽にご相談して頂きたいと思います。

営業時間：平日 8:50～17:10

土曜 8:50～12:30

(日曜・祝日・年末年始12月31日～1月5日は休み)

場 所：済生会小樽病院 1F 新患受付の横

<支援の流れ>

訪問面談などによる生活状況や生活環境の確認。ご本人ご家族の希望や意向の聞き取り。

サービス提供事業所への依頼や調整。ケアプランの作成。

サービス担当者による打ち合わせ

サービス利用開始

定期的な訪問によるサービス利用状況の確認。ご自宅での生活状況の確認。

※新たな課題
※見直しの必要性

野球検診を 開催しました

12月26日当院にて、野球検診を開催しました。

3回目となる今回は、今年、全国硬式野球大会ジャイアンツカップで準優勝した小樽リトルシニア球団の選手27名が参加しました。

野球検診は、「野球ひじ」等のスポーツ障害の早期発見や予防を目的として、超音波画像の撮影・診断や身体機能評価を行うもので、当院の和田副院長、織田整形外科部長を中心に、札幌医科大学整形外科とスポーツ理学療法学研究室の協力を得て、当院リハビリテーション室の理学療法士が行っています。

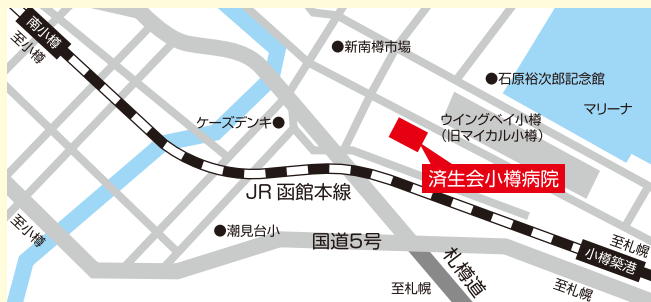


今回は障害の発見だけでなく予防にも関心をもっていただくと、ストレッチや筋力トレーニングなどのレクチャーも行いました。参加した選手たちは、自分の予想以上に硬い筋や弱い筋があったようで改善を目指して一生懸命取り組んでいました。

今回の検診を参考に怪我をしない身体づくりをして、これからも活躍していただきたいと思います。



交通のご案内



中央バスをご利用の場合

- 「各種系統 ばるで築港線」にて済生会小樽病院前下車し徒歩1分
- 「系統2番・3番 本線（桜町～高島3丁目）・（新光2丁目～手宮）」
- 「系統6番 望洋台線（小樽駅～望洋台シャンツェ下）」にて小樽築港で下車し徒歩10～15分
- 「高速バス おたる・よいち・ニセコ・いわない号」潮見台下車徒歩10分

JRをご利用の場合

- JR小樽築港駅から徒歩10～15分

施設認定

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本消化器病学会専門医認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本甲状腺学会認定専門医施設
- 日本神経学会専門医教育施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本手外科学会基幹研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設
- JSPEN 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- JSPEN 日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム専門療法士実地修練施設
- JCNT 日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設
- 日本麻酔科学会 麻酔科認定病院

～ 院 是 ～

恕

じょ
(おもいやり)

～ 専門外来の受診について ～

当院の専門外来は、「他医療機関の紹介状」及び当院の一般外来からの紹介が必要です。また、専門外来によっては「完全予約制」となりますのでご注意ください。

詳細につきましては、各科外来もしくは、下記までお問い合わせください。

予約センター専用ダイヤル 0120-489-275 (病院診療日の平日14:00～16:00)